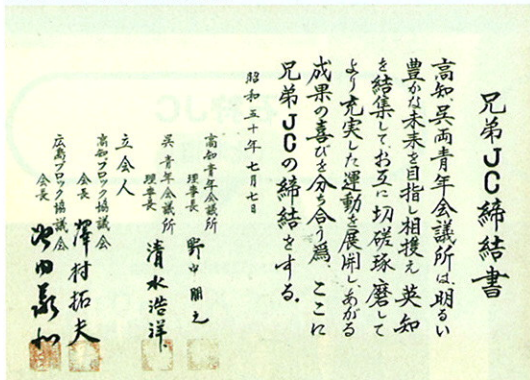


高知JCとの兄弟JC締結書。



呉JCは1952年11月、広島県では2番目、日本では39番目の青年会議所として誕生し、今年で57年目の歴史を有しております。そして呉JC特別会員会は呉JCの有史以来、400名に迫る卒業生を輩出し、現在では大之木伸一郎会長をはじめ294名の特別会員と7名の特別名誉会員にて構成され、「金は出しても口は出さない」を



金は出しても口は出さない。 頼れる存在として 現役支援を継続的に実施

基本に現役メンバーの精力的な運動展開への後方支援を行っております。

呉JC特別会員会の主な活動は、年に1回の総会と年に4回の定例会があります。総会では前年度卒業生の特別会員への入会承認と年間の事業スケジュールの確認等を行なっており、また年4回の定例会では会員相互の交流や現役メンバーに対する支援のあり方などを議論しつつ、旧友と昔話に花を咲かせております。

更に、呉JCは高知JCと特別な関係を築いております。日本の中では珍しく、姉妹JCではなく兄弟JCの関係であります。締結は1975年7月ですので、今年で34年もの長きにわたっております。現役メンバーは毎年お互いの例会を訪問する交流を持っておりますが、そ

の機会に乗じて特別会員会もお互いを訪問して交流を持ち、今年4月に高知の地を訪問する予定です。

なお、呉JCの特別会員は70歳をもって3つの選択をすることになっております。一つは特別会員として継続する選択、一つは「特別名誉会員」として会員ではあるが一線を画す選択、そして退会の三択です。物故も含めて、残念ながら特別会員会から退かれる先輩もいらっしゃるかもしれませんが、残っている大勢の特別会員で未来永劫続くであろう現役メンバーの活動に全面的なバックアップをしまいる所存です。

日本JCシニア・クラブ
監事 奥原祥司



今年2月総会で挨拶をされる大之木伸一郎会長。

